

ミュージカル

わらび座
WARABIZA

ジュリア おたあ

Julia Ota

祈りの花、凜と咲く。

作曲 / 甲斐正人
演出 / 鈴木ひがし

原画 / 智内兄助

おおいた日韓友好祭2014

2014年10月12日(日) 開演/14:00 ホルトホール大分大ホール
(開場/13:30)

全席指定
(税込)

▶ A席:3,500円
▶ B席:3,000円

【主催】おおいた日韓友好祭実行委員会、わらび座

【後援】特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議、大分合同新聞社

徳川家康公顕彰四百年記念事業推進委員会、宇土市教育委員会、朝鮮通信使縁地連絡協議会、九州観光推進機構

【推薦】在日本大韓民国民団中央本部、カトリック中央協議会広報

カトリック東京大司教区、カトリック大阪大司教区、カトリック長崎大司教区

【共同企画】宇土市(熊本県)

大分県県民芸術文化祭参加作品
大分県青少年舞台芸術鑑賞事業作品
大分県教職員互助会観劇対象作品

プレイガイド

●ホルトホール大分・市民ホール ●トキハ会館3Fプレイガイド

●わらび座オンラインチケット【PC】<https://www.e-get.jp/warabi/pt/>



わらび座オンラインチケット
[携帯]用QRコード

お問い合わせ▶わらび座九州事務所 / TEL.092-674-4151(平日9時~16時不在の際は留守番電話へ) ▶是永携帯 / TEL.090-3363-5529

歴史の荒波を生きた彼女が願ったものとは—



ジュリアおたあとは

1592年、豊臣秀吉による朝鮮出兵(文禄の役)の際、小西行長に助けられ日本で養育された朝鮮の美しい少女。

1600年、関ヶ原の戦いで小西行長が刑死した後、その美貌と才気を認められて徳川家康の侍女となり、更に家康の側室になるよう要求されるも拒否し、キリスト教信仰を守り通した。文禄・慶長の役から関ヶ原の戦いまでの激動の時代を凛と生き抜いた女性です。

ジュリアおたあ役
碓井 涼子



天性の歌声を持ち、わらび座作品で常に主演やヒロインを務める。近年の主な出演作品:「天草四郎」「火の鳥」「鶴姫伝説」「アトム」「おもひでぼろぼろ」「小野小町」

作: 鈴木 哲也

同志社大学在学中より劇作家マキノノゾミに師事、その後大劇場を中心に創作活動に入る。主な劇作にコクーン歌舞伎「佐倉義民傳」、ミュージカル「アリス・イン・ワンダーランド」、日本テレビ「里見八犬伝」など。

わらび座とは

わらび座は民族伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在7つの公演グループで年間約1200回公演。その他、民族舞踊・太鼓・演劇など、様々なワークショップも行っています。また、劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「たざわこ芸術村」を展開。ホテルや温泉ゆぽっぽ、田沢湖ビールレストラン、森林工芸館の他、中核となる「わらび劇場」では1995年より常設公演を開始。大劇場・小劇場あわせて年間約300回、わらび座作品だけでなく海外招聘作品を国際交流事業として上演するなど、多彩なプログラムを開催しています。

わらび座公演営業部 ● 〒014-1192 秋田県仙北市田沢湖卒田字早稻田430 TEL.0187-44-3316 FAX.0187-44-3318

<http://www.warabi.jp/> E-mail : info@warabi.or.jp



わらび座

検索

【わらび座オンラインチケット】インターネットでもご予約いただけます。

<http://www.e-get.jp/warabi/pt/>(パソコン用) <http://www.e-get.jp/warabi/dt/>(携帯)



あらすじ

天下人・徳川家康が一人の女性に問いかける。「なぜそなたはここまで強く生きてゆけるのだ?」。その問いに、ジュリアおたあが自らの半生を語り始める。

秀吉の軍勢によって親や故郷を失った少女おたあは、九州肥後国宇土のキリスト教徒大名・小西行長のもとで、行長やその妻ジュエラの慈愛を受けて成長していく。しかし心の奥深くでは「なぜ人は苦しみ続けるのか?」と問いつけていた。行長が設立した施薬院(貧しい人々を無料で手当する施設)で働くうち、苦しくとも懸命に生きようとする人々とふれあい、「命の意味」を改めて見つめていく。

やがて関ヶ原の戦に赴くことになった行長は、「国境のない世を作る」という理想と武士の身のはざまで苦しみ迷いながらも前に進んできた人生をおたあに語る。その言葉はおたあに「生きることの意味=愛」を教え、行長の願いを受け継いで生きようと決意する。行長が処刑された後、家康に仕える身となったおたあに思いがけない事態が起こる。朝鮮との交流回復のために家康が行った「刷環史」の招聘だった。そんなおたあにはさらなる苦難が待ち受けていた――。

[スタッフ]

作 / 鈴木哲也
演出 / 鈴木ひがし
作曲 / 甲斐正人
作詞 / 高橋亜子
美術 / 横田あつみ
照明 / 八木優和
音響 / 小寺仁
衣裳 / 槇口藍
ヘアメイク / 戸塚淳子
小道具 / 平野 忍
原画 / 智内兄弟

後援 / 徳川家康公顕彰四百年

記念事業推進委員会
宇土市教育委員会

朝鮮通信使縁地連絡協議会

九州観光推進機構

推薦 / 在日本大韓民国国民団中央本部

カトリック中央協議会広報

カトリック東京大司教区

カトリック大阪大司教区

カトリック長崎大司教区

共同企画 / 宇土市(熊本県)

作曲: 甲斐 正人

東京芸術大学作曲科卒業。舞台音楽、ミュージカル音楽を手掛ける他、オリジナルミュージカルの製作等幅広く活動する。1984年度日本アカデミー賞最優秀音楽賞(映画「蒲田行進曲」)、2000年度読売演劇大賞最優秀スタッフ賞(「出島」、「エリザベート」)受賞。

演出: 鈴木 ひがし

日本大学芸術学部文芸学科卒業。東宝株式会社演劇部所属。ストレートプレイからミュージカルまで幅広く活動する。昨年は『レ・ミゼラブル2013』で演出助手をつとめ、演出家ジェームス・パウエルからの信頼を得る。